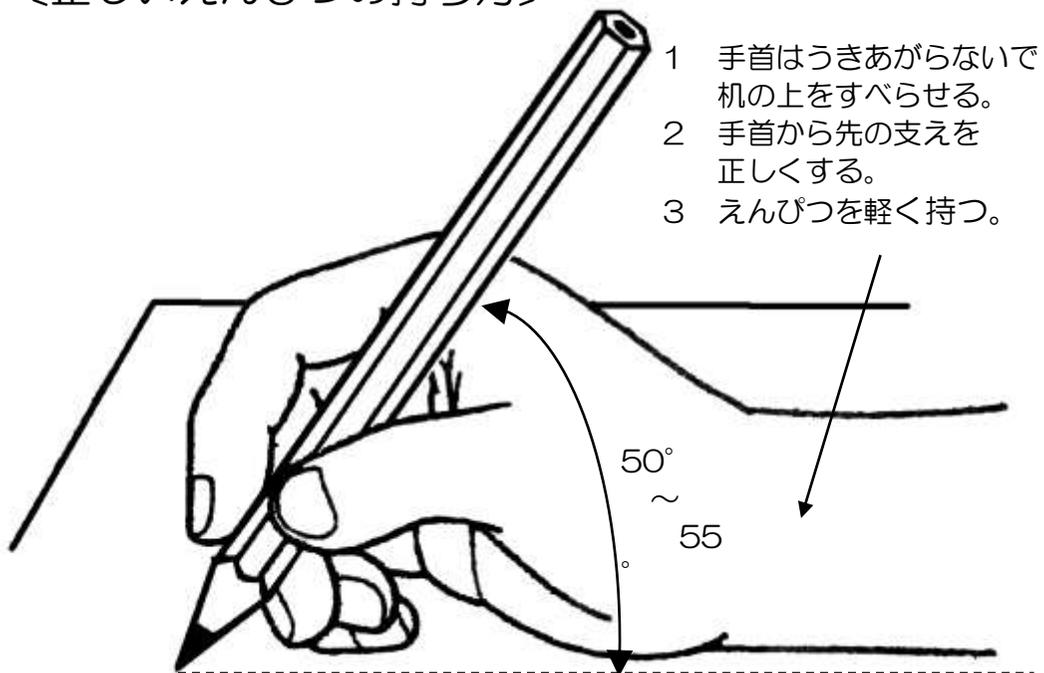


◆正しいえんぴつの持ち方をチェックしましょう

●えんぴつの持ち方が悪いと、次のように失敗します。

- ①指がつかれます。
- ②指の屈伸が少なくなるので、のびのびした大きな字が書けません。
- ③書く速度がおそくなります。
- ④字が見えにくい場合があります。

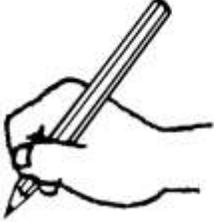
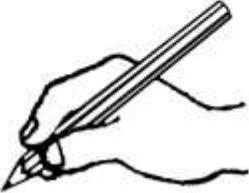
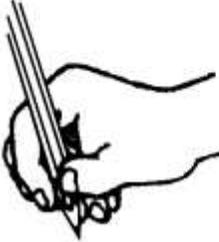
〔正しいえんぴつの持ち方〕



- 4 指先をそろえて、用紙を軽くおさえる。
- 5 えんぴつの先が、右胸の前あたりにくるように、ノートを動かす。
- 6 背すじをのばす。



(えんぴつを持つ時おちいりやすい10の失敗)

<p>①</p>  <p>●人さし指に無駄な力が入っている。</p>	<p>⑥</p>  <p>●四本の指で持っている。</p>
<p>②</p>  <p>●親指の位置が悪い。</p>	<p>⑦</p>  <p>●二本の指で持っている。</p>
<p>③</p>  <p>●親指と人さし指がついている。</p>	<p>⑧</p>  <p>●けずったところを持っている。</p>
<p>④</p>  <p>●人さし指を強く曲げている。</p>	<p>⑨</p>  <p>●軸が指の付け根に入っている。</p>
<p>⑤</p>  <p>●指をのばしすぎている。</p>	<p>⑩</p>  <p>●軸の傾きが悪い。</p>